



ドイツ合唱界の旗手

イェルク・シュトラウベ氏による
合唱コンサート

IN STILE ANTICO

バッハの合唱曲にみるイタリア音楽の影響

2013年 **9月23日** [月・祝] 16時開演 [15時30分開場]
武蔵野市民文化会館 小ホール

当日3,500円 前売3,000円

Jörg Straube イェルク・シュトラウベ 指揮

David Staff デイヴィッド・スタッフ コルネット/トランペット

Ryoko Morooka 諸岡 亮子 オルガン

Cappella Gregoriana Favorito

カペラ・グレゴリアーナ ファヴォリート/ワークショップ受講生 合唱

G.P.da Palestrina G.P.daパレストリーナ (bearbeitet von J.S.Bach)
Missa Sine nomine "Kyrie" ミサ「シネ・ノミネ」より「キリエ」

J.S.Bach J.S.バッハ
Messe G-Dur BWV 236 "Kyrie" ミサ ト長調BWV236より「キリエ」

Claudio Monteverdi C.モンテヴェルディ
Cantate Domino canticum novum 主に向かって新しい歌を歌え

Giovanni Bovicelli G.ボヴィチェリ
Ancor che col partire アンコール・ケ・コル・パルティエーレ (コルネット+オルガン)

Giuseppe Tartini G.タルティーニ
Cocerto in D-dur 協奏曲 二長調 (トランペット+オルガン)

他

チケット取扱い / 聖グレゴリオの家 TEL 042-474-8915 [月～金 9:00～18:00]
武蔵野市民文化会館 TEL 0422-54-8822
東京文化会館チケットサービス TEL 03-5685-0650 [オペレータ対応]
営業時間 10:00～19:00 [休館日休業] <http://www.t-bunka.jp/>

主催 / 聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所
後援 / ドイツ連邦共和国大使館 イタリア文化会館



問い合わせ / 聖グレゴリオの家 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-7-12
TEL 042-474-8915 [月～金 9:00～18:00] FAX 042-474-8832
<http://www.st-gregorio.or.jp/>

IN STILE ANTICO バッハの合唱曲にみるイタリア音楽の影響

J.シュトラウベ氏は4年ぶりの来日にあたり、合唱ワークショップとコンサートに“STILE ANTICO(スティーレ・アンティーコ)”というテーマでプログラムを組まれました。パレストリーナとバッハを中心に、その周辺の音楽家たちの作品を通して音楽の歩んできた歴史の一部を垣間見ることに繋がります。それは、音楽の歴史から見てもキリスト教の歴史から見ても、見逃せないテーマなのです。バロック時代の音楽がパレストリーナの対位法の上に成り立っていることに私たちは気付きます。また同じように、ローマカトリック教会を代表するパレストリーナと、プロテスタント・ルーテル派の偉大な作曲家バッハの作品をみた時に、やはりこれらは宗派を超えて伝統の上に成り立っていることがわかります。芸術は伝統と歴史を通じてすべてを超えたところから生まれてくるものであり、それが現代にまた未来にその偉大さを輝かせるのです。

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所長 橋本 周子

イェルク・シュトラウベ Jörg Straube 指揮

1953年ブレーメン生まれ。ハノーファー、ハンブルグ、ブレーメンの各音楽大学で教会音楽と教育音楽を修める。1986年よりハノーファー・バッハ合唱団の指揮者として、またハンブルグ、ベルリンでも活動。1990年～91年、フライブルグ音楽大学で合唱指揮法の客員教授を務め、1991年よりヴェルツブルグ音楽大学にて合唱指揮法の教授として教鞭をとる。1981年から北ドイツフィガラルコアを率い、ヨーロッパを中心に各国で公演。CD及びコンクールでは数々の賞を獲得。1992年に初来日。2003年より、聖グレゴリオの家にて合唱音楽ワークショップをおこない、好評を得ている。また2004年、聖グレゴリオの家創立25周年記念コンサート、2006年、カペラ・グレゴリアーナ ファヴォリートのコンサート、2009年には東京スコラ・カントールム/聖グレゴリオの家創立30周年記念合同演奏会においても指揮をおこなっている。

ディヴィッド・スタッフ David Staff トランペット/コルネット

15才より独学でナチュラルトランペットとコルネットを学び始め、その後ロンドンギルドホール音楽大学に学ぶ。1985年より本格的に演奏を開始し、1986年からフランス・ブリュッヘン率いるアムステルダム18世紀オーケストラに於いて指穴のないナチュラルトランペットの採用を実現する。その公演は1100回を超える。CDの録音も数多く、演奏が困難なことで有名であるJ.S.バッハのブランデンブルグ第2番をはじめ、バッハの作品のすべての主要なトランペットパートを演奏し録音している。現在はモダン楽器と古楽器の両方を扱う奏者として20を超える国で活躍している。また、近年アムステルダム、スウェーデン音楽院の古楽トランペット科の教授となり、その他、インターナショナル・トランペット・ギルドのためのマスタークラスおよびセミナーを開催、日本をはじめ各国の大学や音楽院で招聘され後進の指導にあたっている。彼のトランペットへの興味は演奏や指導にはとどまらず、1991年より楽器制作の名匠Frank Tomesのもとで古いトランペットの復元に携り、現在は独自で楽器制作をしながらより深く楽器の研究に努めている。

諸岡 亮子 Ryoko Morooka オルガン

福岡出身。立命館大学史学科東洋史専攻、卒業後、渡独。ハノーファー音楽、演劇大学オルガン科並びに教会音楽科に学びディプロマ取得。在学中にH.フォーゲル、T.コープマン、D.ロート、L-F.タリアピーニ、J.ヴェルダ、各氏のもとで研鑽した。ハノーファーのパオロ及びナザレ教会の専属オルガニスト、またハノーファー音楽大学の講師を務めるかたわら、ドイツ、フランス、イタリア、スコットランド、ポルトガルなどヨーロッパ各地そして日本で演奏活動をしている。1995年からバロックプラス オブ ロンドンのオルガン奏者となり外国公演などでも活躍している。2013年、ヘンデルプロジェクトの一環として、ハノーファー少年合唱団のセレクトメンバーをアンサンブル指導の予定。またK.ユングヘーネルの音楽アシスタントとしてハノーファー歌劇場でのバロックオペラプロジェクトに参加。これまでに、北ドイツフィガラル合唱団、北ドイツ放送響、リアス合唱団を始め各国のアンサンブルと共演している。

カペラ・グレゴリアーナ ファヴォリート Cappella Gregoriana Favorito 合唱

聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所の研究部門のひとつとして活動している。ローマカトリック教会のみならずキリスト教他宗派の音楽や、新たに作曲された曲などを日々の典礼の中で実際に歌いながら、典礼音楽を通し西洋音楽の根源をたどり、その本質を求め続け、現代における宗教音楽の可能性を探ることを目的としている。近年、グレゴリオ聖歌の古記譜法に基づく演奏の研究に力を注ぎ、連続してCD録音を行っている。その演奏はヨーロッパからも注目されている。宗教曲を中心に各時代、各国々によって異なる演奏様式をふまえ、現代に至るまでの典礼とのかかわりを研究しながら演奏活動を続けている。2008年、2011年ハンガリーVácにおけるInternational Gregorianik festival に出演した。

ブログ：声楽アンサンブル・ファヴォリートの華麗な日々 <http://blog.livedoor.jp/favorito/>

武蔵野市民文化会館 小ホール

〒180-0006 武蔵野市中町3-9-11 Tel:0422-54-8822 Fax:0422-54-2014

JR三鷹駅北口から

- 徒歩約13分
- バス 1番線 北裏、武蔵関駅、田無橋場、多摩六都科学館、武蔵野営業所
- 2番線 柳沢駅、東伏見駅北口
- 市民文化会館入口下車 徒歩2分

JR吉祥寺駅北口から

- バス 1番線 向台町五丁目、桜堤団地、柳沢駅、武蔵野市役所
- 2番線 電通裏、柳沢駅前行
- 市民文化会館前下車

JR武蔵境駅北口から

- バス 5番線 三鷹駅行(武蔵野大学経由)
- 市民文化会館入口下車 徒歩2分

西武新宿線武蔵関駅南口から

- バス 三鷹駅行
- 市民文化会館入口下車 徒歩2分

西武新宿線柳沢駅南口から

- バス 吉祥寺駅行 市民文化会館前下車
- 三鷹駅行 市民文化会館入口下車
- 徒歩2分

西武池袋線保谷駅南口から

- バス 三鷹駅行 市民文化会館入口下車
- 徒歩2分

【Parking】 地階リフト式駐車場 1時間200円 88台収容

※高さ1.5m以上、長さ4.7m以上、幅1.7m以上、重さ1.5トン以上のお車は入れません

